

2026年 シラバス

履修規定	必修課目	授業課目	理容技術理論
履修学年	2年	コース	理容科
担当教員	鞍成和恵	経歴	理容技術理論教員資格
担当教員		経歴	
授業時間数	56	授業方法及び場所	教室 校内

1. 教科・科目の目標（到達目標）

- ・人の容姿を整えることに関わる技術を習得するため、技術の理論をしっかりと理解させる。
- ・修得する技術の目標を明確に定め、技術向上、さらに国家資格習得を目指す。
- ・職業訓練の実習と合理的に習得するための基礎を身につけさせる。

2. 学習内容

- ・教科書全般だけでなく、教科書から重点的な部分をさらに掘り下げ、より理解度を深める。
- ・各章において総合学習を行い復習として理解させる。
- ・各技術を身につけるため、理容技術理論で裏付けし、理解させる。

3. 学習方法

- ・座学だけでなく、実習室において実習形式も含め授業を進める。
- ・教科書の理解度を確認するため、理容師国家試験過去問題を学習する。
- ・DVD鑑賞にて補足説明を行う。
- ・講義形式を基本とし、国家試験に向けた演習授業も適宜取り入れる。

4. 学習評価

- ・学習態度、出欠状況の評価する。
- ・提出物、小テストで評価する。
- ・学期末テスト（70点以上であること）

教科書	理容技術理論1・理容技術理論2 （日本理容美容教育センター発行） 理容実習1・理容実習2 （日本理容美容教育センター発行） 技術の解説（日本理容美容教育センター発行）	参考文献 副教材等	オリジナルプリント DVD（日本理容美容教育センター発行） 理容用具
-----	---	--------------	--

学習計画

月	学習項目	学習内容・方法
4月	パーマメントセット	パーマメントウェーブの原理・原則を理解させる。 正しい操作の反復練習の重要性を理解させる。 用剤の特徴や技術プロセスを学習する。 ヘアスタイルを作るためのパーマメントセットを意識させる。 (DVD活用・オリジナルプリント活用)
5月 6月	理容エステニク 理容クリニック	皮膚の構造や生理について十分に理解させる。 フェイシャルケア技術習得、習熟を目指す。(理容実習にて重複) 基礎知識を学ばせる。(毛髪・頭皮について) ハンドケア、フットケア(理容実習にて重複) (オリジナルプリント活用)
7月	ヘアトリートメント 総合学習	種類、目的と効果について理解させる。 髪の損傷について学ばせる。 ヘアトリートメントの一例を理解させる。 (理容実習にて重複) 第1章～第7章の復習・まとめ 学期末テスト
9月	ヘアカラーリング	染毛剤の種類と特徴を理解させる。 毛髪が染まる仕組み、技術のプロセスと技法を学習する。 安全性と取扱いについて(オリジナルプリント活用)
10月	ヘアカラーリング	染毛用剤の種類による基本プロセスを理解させる。 (理容実習にて重複)
11月 12月	スカルプ トリートメント	目的をしっかりと理解させる。 種類・方法について学習する。(理容実習にて重複) 学期末テスト
1月	総合学習	第8章～第14章の復習・まとめ
2月	総論	学習したことのまとめ、確認 国家試験対策 学期末テスト